

第2回 大学で学ぶことの意味，大学の授業スタイル，大学と実社会

【各自の取り組み】下記の空欄を埋めてみよう（この配付資料自体は提出する必要はない）

1. 大学と高校での学習の内容や授業スタイルの違いを考えてみよう

高校までの学習の内容や授業スタイルは，どのようなものであったか？

大学での学修の内容や授業スタイルは，どのようなものと想像されるか？

（講義のほかに，演習，実験などもある）

2. 大学での「ノートの取り方」をインターネットで検索して調べてみよう

→調べて，気がついたことは？今後に活かすことができそうなポイントは？

参考）文藝春秋『東大合格生のノートは必ず美しい』特設サイト

http://www.bunshun.co.jp/toudai_note/index.html

3. 大学では、どんなことを身につけたいと考えるだろうか？

社会に出たときに、どんな「力」を身につけておくとよいだろうか？

では、そのような「力」を身につけるために、具体的には、どんな取り組みをしてみればよいのだろうか？

【提出を要する課題】

10年後、20年後、30年後の自分の姿を考えて、05月18日（月）中に、以下の方法で課題を提出する。400字以上を目標にする。できるだけ①の方法で、それが難しい場合は②の方法で、それも難しい場合は③の方法で提出する。

①MS Teams 上の「課題」に、Microsoft Word 形式で、課題を書き込んだファイルをアップする。

②MS Teams 上の投稿画面の一番下にある「新しい会話」（投稿機能）を使用する。一番下の左側の「A」をクリックすると画面が大きくなるので、「@【授業】プレゼミナール（2020前期）辻原」と入力すれば、6人のメンバー全員に投稿する内容を送ることができる（何もしなくても、全員に届くかもしれない。辻原も模索中。）。最後に、一番下の右端の紙飛行機をクリックする。

③辻原宛に e-mail（辻原のアドレス：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp）で送付する。

皆さんが考えた内容に、辻原がコメントをつけて、まとめたファイルを、後日、Microsoft Teams 上にアップロードする。他の人の考え方を参考にして、自分の大学での学修がどのように社会に出たときに役立つかを考える。なお、この考えた内容については、特に、提出する必要はない。